「ワイヤレス・エネルギー伝送技術の最前線」

発刊　2011年2月
定価　49,140円（税込）
頁数　432頁
判型　B5
ISBN978-4-86043-351-2

序　論　ワイヤレス・エネルギー伝送技術がもたらす社会革新
第1編　ワイヤレス・エネルギー伝送技術開発の最前線
第2編　ワイヤレス・エネルギー伝送の応用技術最前線
第3編　ワイヤレス・エネルギー伝送技術の安全性と標準化
第4編　ワイヤレス・エネルギー伝送技術の将来
【執筆者　計43名】

非接触電力伝送技術の本命と期待される電磁界共振結合から電磁誘導、マイクロ波、エバネッセント波までその基本原理と課題を解説。さらに周辺技術開発の動向、評価・解析技術や応用技術を徹底詳解！実用化の鍵を握る安全性対策と国連標準化動向もカバーし解説。

「セルロース系バイオエタノール製造技術」

発刊　2010年3月
定価　44,940円（税込）
頁数　424頁
判型　B5
ISBN978-4-86043-265-2

第1編　各種セルロース原料からのバイオエタノール製造技術と課題
第2編　前処理および糖化技術
第3編　発酵技術
第4編　濃縮・分離技術および後処理技術
第5編　課題と展望
【監修者　近藤昭彦（神戸大学）植田充美（京都大学）】
【執筆者　計64名】

非食料系・セルロース系原料からのバイオエタノール生産製造に関する各要素技術、中でも前処理や発酵技術を中心にした最新動向と今後の見通しを解説。

「高性能蓄電池」

発刊　2009年9月
定価　47,460円（税込）
頁数　420頁
判型　B5
ISBN978-4-86043-263-8

第1編　リチウムイオン電池
第2編　電気化学キャパシタ
第3編　ニッケル水素電池
第4編　鉛蓄電池
第5編　注目される次世代蓄電池
第6編　次世代蓄電池研究開発の展望
【執筆者　計64名】

電池ごとに高性能化に向けた構成要素（正極材料、負極材料、電解質）の課題克服技術、特性解析、評価を解説。さらに次世代蓄電池として注目される電池の最新動向も紹介する。

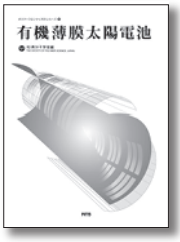
「熱電変換技術ハンドブック」

発刊　2008年12月
定価　57,750円（税込）
頁数　736頁
判型　B5
ISBN978-4-86043-257-7

第1章　熱電変換技術概論
第2章　熱電変換材料
第3章　熱電モジュール
第4章　開発と実用化
【監修者　梶川武信（湘南工科大学）】
【編集委員長　舟橋良次（産業技術総合研究所）】
【編集委員　阿武宏明（山口東京理科大学）
鈴木亮輔（北海道大学）寺崎一郎（早稲田大学）
山本淳（産業技術総合研究所）】
【執筆者　計105名】

近年注目の、熱電特性を持つ新しい物質材料の基礎データとして化学的・物理的視点を網羅。またその製造プロセス、構造解析から新物質開発の現状・設計指針、更に実用化への鍵となるモジュール化技術の開発事例や最先端技術、熱電変換技術の成功例から問題点まで詳解！

「有機薄膜太陽電池」



発刊　2010年8月
定価　28,530円（税込）
頁数　188頁
判型　B5
ISBN978-4-86043-268-3

第1講　低分子系有機薄膜太陽電池
第2講　人工光合成と超分子有機太陽電池
第3講　自己組織化による有機薄膜太陽電池のナノ構造制御
第4講　構造制御を指向した有機薄膜デバイス作製技術
第5講　高分子で創る有機薄膜太陽電池—ナノ構造と分光法による素過程の研究
企画：（社）高分子学会 行事委員会
【執筆者　計5名】

（社）高分子学会主催のセミナー「ポリマーフロンティア21 有機薄膜太陽電池」（2009年6月5日）を講演録として編集した本書では、発電効率向上に向けた最新の研究を詳解。

「太陽エネルギー有効利用最前線」

発刊　2008年6月
定価　49,770円（税込）
頁数　664頁
判型　B5
ISBN978-4-86043-154-9

第1編　太陽光発電技術
第2編　ソーラー水素生産
第3編　太陽熱発電技術
第4編　太陽エネルギーの住空間利用・間接利用
第5編　太陽エネルギー利用の動向と普及のための取り組み
【執筆者　計62名】

太陽エネルギーを効率よく利用するために必要な「様々な技術との複合化」の解説、最新開発動向、技術課題とその克服技術、今後の展開を網羅した待望の書！

株式会社 エヌ・ティー・エス　〒113-0034 東京都文京区湯島 2-16-16　Tel 03-3814-9151　Fax 03-3814-9152